
貝殻草の夢

並盛りライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

貝殻草の夢

【Nコード】

N6550B

【作者名】

並盛りライス

【あらすじ】

僕は兄に会うために公園に向かった。大人になるために必要な事はなんだろうか。僕は貝殻草の視せる夢を語る。

霞がかつた夜の公園で、光は散々と降り注いだ。プラスチック性の薄水色のベンチが少し湿っていた。

僕は、できるだけ静かにその中を歩いた。玄関を出てから、このベンチに来るまでに十分かった。

兄は、見計らったようにそこに現れた。僕が来るのをどこかで見ていたかのように、正確なタイミングだ。

深く黒いニット帽を被り、色の濃い眼鏡をかけていても、口元の皺の具合や、特徴のある耳の形をみれば判断することは容易い。

「大きくなつたな」

そこには感情は感じられず、儀礼的な挨拶みたいだった。

「まだ、見付かってないんだね？」

「ん？まあな」

表情は分からないが、多分笑つたのだと思う。

「兄さんは、何処で生活してるの？お金は？食べ物はどうしてるの？」

聞いても答えてくれる事はないだろう。期待はしていない。

「……ダイ、口は何の為にあると思う？」

声のトーンが落ちて、予想通り兄ははぐらかす。

「食べて、飲むため？」

「そうだ、そして喋るため、歯を磨き、煙草を吸い、性器に触れるためであり、他人を欺くためにあるんだ」

決して僕の方を見ないで言うと、ポケットから煙草を取り出した。

「大切な事はなあダイ。食べる事じゃない、飛ぶ事なんだ」

僕は少しだけ解る気がした。食べるために働く大人と働くために食べる大人。

「母さんは元気か」

「うん、母さんは元気だよ。兄さんに会いたいって言ってた」
僕の口は欺く。

「そうか」

仄暗い闇に赤い点が一つ。

「ダイ、新しい父さんは殴らないか？」

その意味さえ、今では通りすぎていく。いつのまにか春は過ぎて夏になるように。

「うん」

「最近、夢を視るようになったんだ」

僕の口が紡ぎだす言葉。

「夢？どんな夢だ？」

「僕は魚になって自由に海を泳ぐんだ。でも、とても眠いんだ。すごく眠くて、眼を開けていられないくらい眠い」

兄は煙草を靴で消す。闇は、また静寂を取り戻した。

「眠ってしまったら溺れてしまうつて解るんだ。絶対に眼を閉じてはいけない」

そこに兄が居るのかどうか、僕にはもう分からなかった。それが誰の息遣いなのかも分からない。

「苦しいのは最初だけで、少しすると気持ち良くなってくる。僕は、酷く汗をかいて、身をよじる」

息を小さく長く吐いた。ザワザワと風が騒ぎ立てる。

「目が覚めて、シャツが汚れているのに気付くと、僕はうんざりするんだ」

煙草の吸い殻を僕は拾った、まだ半分も吸い終わらない内に、足で揉み消されている。

子供は生きるために食べるのだと兄は言った。僕がテレビに夢中になっていた時の話だ。

兄が大学受験に失敗すると、父親が暴力を振るうようになった。アルコールも、煙草も吸わない父は、母の歯を三本折った。

公園の空は、夜から早朝に変化し始めた。

草木は湿っぽい空気を放出している。

「それでも僕が生きたら……いったい何のために生きるのかな。僕は何処に行こうとしているのかな」

兄は既に答えを出していた。父を殺した時から、答えは出ていたのだ。

正直に言うと、僕には怖い事なんてなかった。例えば、新しい父親であるマサトさんの事を、お父さんとまだ呼べない事や、いつのまにか大人になる事も怖くはない。

ただちよつとだけ、深い霧のせいで躊躇してしまっただけなのだ。いつでも取り出せるように、ナイフを忍ばせておく心配に比べれば、生きる事は実に容易いではないか。兄ならきっと、そう言うだろうと想像しながら、空気の澄んだ早朝の公園で僕はただ貝殻の夢を視て、まどろむ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6550b/>

貝殻草の夢

2010年10月29日01時48分発行